



1月7日、好藤地区で好藤歩こう会が行われました。
健康増進を主な目的とするこの行事、当日は、18人の参加があり、時折雪が降り凍えるような寒さの中、約6キロの道のりを歩きました。
全行程を歩き終え、公民館に帰ってきた後、地元有志の方から、七草がゆ、しし鍋、甘酒が振る舞われました。
参加者は、それらを食べながら歓談し、冷えた体を温めました。

七草を食べて、健康な一年に

◎好藤歩こう会



1月4日、5日、ソルファ小田スキー場で町内の小学校6年生を対象にスキー教室が行われました。
初日は天候にも恵まれ、基本的な滑り方を教わった後、スキーに挑戦。転倒する児童が続出し、慣れない体験に悪戦苦闘していました。
2日目は、吹雪の中で行われましたが、初日の練習の成果が実り、ほとんどの児童が転倒することなく、ストックと板を自在に操り、上手に滑っていました。

七転び八起き

◎鮮スキー教室

鬼ヶ城の天狗

子どもに健康祈願

◎子泣かし天狗祭

今年で20回目を迎える「子泣かし天狗祭」が、1月10日、広見体育センターで行われ、天狗が空から舞い降りるといふ新しい演出で幕を明けました。
当日は、平成20年に誕生した37人の幼児とその保護者が参加しました。
太鼓集団「魁」の太鼓の音とともに鬼ヶ城に住むと言われる2人の天狗が登場すると、子供たちは一斉に泣き叫び、会場中にその声を響かせました。
その後、天狗が泣き叫ぶ子どもを抱き抱え、「元気に育て」「かわいく育て」との叫び声を合図に、保護者は力強く大太鼓を打ち、子どもの健やかな成長と幸せを祈願しました。

